

RIKKEN
MINSHU
号外
鹿児島県連合
2020.12.4

立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町
2-12-4 ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302
goiken@cp-japan.net
http://cdp-japan.jp/

立憲民主
The Constitutional Democratic Press

立憲民主党鹿児島第1区総支部
〒890-0056 鹿児島市下荒田1-6-23-2F
Tel. 099-206-2422
Fax. 099-259-7927
E-mail office@kawauchihiroshi.com

さあ!
日本を変えよう。

衆議院議員

川内ひろし

ご挨拶

皆様、いつも「頑張れ、頑張れ」と街角で励ましていただいていることに心から感謝申し上げます。
新型コロナウイルス感染症問題、「いつになったら終わるのか」「元に戻る日は来るのだろうか」という、先の見通せない不安の中で、毎日を過ごしていらっしゃると思います。

「アベノマスク」「Go Toトラベル」に象徴されるように、これまでの政府の対策は、後手後手での的を外れているものでした。

そして、体調不良とのことで安倍総理大臣が突然辞任し、菅内閣が発足しました。

対する私達野党は、新「立憲民主党」を立ち上げ、枝野代表を先頭に政権交代を目指します。

なぜなら、人心を一新し、新型コロナウイルス感染症対策を根本的にあらため、前に進めていかなければならないからです。

今が、その時です。

私 川内博史は、そして新「立憲民主党」は、「感染拡大の防止と社会経済活動の両立」の為には「検査すること」だと考えています。

皆が、新型コロナウイルスに対して抱えている不安や恐怖は「ウイルスが目に見えないから」です。それを「見える化」するのが「検査」なのです。



今、PCR検査と同等の能力を持ち、しかも圧倒的にコストの安い「抗原定量検査」も実用化されています。

私の予算委員会での提案により、大量かつ迅速そして安価なPCR検査を実施してゆく為の実証事業も経済産業省において始まっています。

「感染状況を正確に把握し、感染防止策をとる中で、社会経済活動を回してゆく」ことで、普通の生活を送れるようになるのです。

検査の目標を、一日100万件、200万件にすることも可能です。一方、ワクチンも抗ウイルス薬も、そうそう簡単に出来るものではありません。世界保健機関(WHO)のテドロス事務局長が、そう言っているのです。しかし、「検査」「検査」「検査」は、やろうと思えば出来ることです。新型コロナウイルス感染症を始めとして「やるべきことをやる政治・行政」に変えていかなければなりません。皆さんの生活、仕事、学業が追いつめられつつある危機的状況の中で、政治・行政が皆さんを支えられるようにしっかりしなければならないのです。

残念ながら菅内閣は「安倍内閣の継承」を標榜しています。これでは駄目です。

なぜなら、学会会議会員の任命を拒否するなどという民主主義を否定するようなことをしていたのでは危機を乗り越えることはできないからです。民主主義とは、皆の意見を聞くこと。皆の知恵を生かしていくことだからです。「俺の言うことを聞け」的な上から目線の政治・行政では危機を乗り越えることはできないのです。

私達は、徹底的にコロナ禍で苦しむ皆さんの生活を支援します。

一時的に、消費税を廃止したり、各種保険料を免除したりする、平時では考えられない大胆な経済政策が必要です。

2回目の持続化給付金も必要でしょう。

徹底的な検査で、コロナウイルスを「見える化」し、大胆な経済政策で皆さんの生活を支えなければならない。その為には、私達が政権を担当し、この新型コロナウイルス感染症と向き合っていくしかない。その為には受け皿をしっかりと作らなければならない。その受け皿が、今回の新「立憲民主党」です。

でも、私は今回の新党設立は、あくまでも第一歩にすぎないと考えています。私は、社民党など他の野党を含めて「大きな塊」になり、政権交代を国民に問うというくらいの覚悟が必要な緊急事態だと思うのです。

ウイルスは過去、世界の歴史を変えてきました。甘く見てはならないし、平時の政治構造や政党間の違いを乗り越えて英知を結集し、皆さんに信頼していただける政治勢力を作らなければなりません。

私、川内博史は声を大にして申し上げたいのです。

みなさん、新型コロナウイルス感染症は、全ての人々の命と健康、生活と仕事に関わることなので、無関心でいたら、将来なぜあの時声をあげなかったのだろうと後悔することになります。そして、私達はひとりではありません。私達は、たくさんいるのです。

だから、絶対に、今、政治を変えなければならないのです。

私の好きなチャップリンの映画「ライムライト」の中には、こんなセリフがあります。

「宇宙の力で地球は動き、動物は生まれ、樹木は育つ。

その宇宙の力は君の中にもあるんだ」

このセリフの意味は、人間は皆ひとりひとり特別な力を持っている、ということだと思います。

それは、超能力などではありません。

「普通の特別な力」です。

それは、愛する人を幸せにする力とか、世の中を変える為に1票を投ずる力です。

新型コロナウイルス感染症という、世界をゆるがす人類史的出来事を乗り越えて、新しい時代の扉を開き「お互い様に支えあう社会」を作って参りましょう。

衆議院議員 川内博史

なにか、お困りのこと、ご意見ある場合、何でもご連絡下さい。

川内博史事務所

〒890-0056 鹿児島市下荒田1-6-23-2F

Tel. 099-206-2422 Fax. 099-259-7927

E-mail office@kawauchihiroshi.com

